

構造改革特別区域計画新旧対照表

新	旧
<p>4 構造改革特別区域の特性</p> <p>高崎市は、平成18年1月に倉渕村、箕郷町、群馬町、新町と、平成18年10月には榛名町と、さらに平成21年6月に吉井町と合併し、人口約37万3千人、面積459.36平方キロメートルとなり、埼玉県から長野県に接続する7つの地域で構成されている。</p> <p>また、東京へ約100キロメートル、新幹線で約50分という位置にあり、新幹線2路線、JR在来線5路線、私鉄1路線、高速自動車道3路線、国道5路線が集中する全国でも有数の拠点性を有している。</p>	<p>4 構造改革特別区域の特性</p> <p>高崎市は、平成18年1月に倉渕村、箕郷町、群馬町、新町と、平成18年10月には榛名町と合併し、人口34万5千人、面積401.01平方キロメートルとなり、埼玉県から長野県に接続する6つの地域で構成されている。</p> <p>また、東京へ約100キロメートル、新幹線で約50分という位置にあり、新幹線2路線、JR在来線5路線、私鉄1路線、高速自動車道2路線、国道4路線が集中する全国でも有数の交流拠点としても位置づけられている。</p>